

第2回 学校評価アンケートの報告と今後の取り組みについて

春暖の候、保護者の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

2学期末の「学校自己評価アンケート」にご協力をいただき、心より感謝申し上げます。皆様からいただきましたアンケートと児童、職員アンケートについて、下記のように第2回学校評議員会・コミュニティスクール（CS）運営委員会に提出し、協議していただきましたので、お知らせいたします。

「アンケート」の結果については、裏面をご覧ください。お寄せいただきましたご意見等につきましては、職員会議において全職員で読ませていただきました。子どもの健全な育成のために努力して参りますので、今後とも、本校の教育活動にご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

記

I 第2回学校評議員会・コミュニティスクール（CS）運営委員会から

- 1 期 日 平成31年2月1日（金）
- 2 参加者 学校評議員、コミュニティスクール運営委員、PTA正副会長、学校長、教頭、教務主任
- 3 資 料 「第2回学校評価アンケート」の結果と考察
- 4 当日出された主な質問・意見と回答

ご意見	<p><「つむぐ」について></p> <ul style="list-style-type: none"> ・大人になったときに、ツールを使いながら一日の見通しを持てるようになっているとよい。子どもたちに習慣を付けさせるために「つむぐ」は有効である。 ・一日の振り返りによい。慣れてくると定着してきて、有効に使えるのではないかと。 ・家庭からの通信欄が広いとよさそうである。
回 答	<ul style="list-style-type: none"> ・「つむぐ」は今年度から上田市の全学校に配布され、活用が始まった。重点的に家庭学習の振り返りをする「まるっこ学習週間」を設けて取り組んだが、そこで「つむぐ」の活用も大切に取り組んだ。今年度始まったばかりの取り組みで、学校と家庭ともにまだ慣れていないところがある。項目や使い方など、上田市全体で試行錯誤しながらより良いものにしていく予定である。中央小でも今年度の取り組みからより有効な利用の仕方を探っていきたいと考えている。

ご意見	<p><暑さへの対応について></p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度は特に暑さが厳しかった。夏休みの期間延長も考えられる。 ・アンケートに暑さを避けて6月に運動会を実施してほしいという意見があるが、その時期に運動会を実施する学校も見られる。しかし、近年は6月もかなり暑い。
回 答	<ul style="list-style-type: none"> ・来年度は5月に10連休となることもあり、夏休みの延長は行わない。運動会は例年と同じ時期で考えている。 ・来年度エアコンが夏までに教室に設置する予定である。都市ガスを使ったものになる。理科室、音楽室への設置は先になる。これまでほど暑さを心配しなくても良くなりそうである。

ご意見	<p><ボランティアについて></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアで家庭科の学習に参加したが、子どもたちが落ち着いて学習できるようになってきたと感じる。ボランティアの皆さんに対して喜んで受け入れてくれるようになった。 ・子どもたちには大人の力が必要である。できることを協力していきたい。
-----	--

回 答	・信州型コミュニティスクールの活動として学校支援ボランティアを募集する。地域の方に学校に来て授業に参加していただき、子どもの「できるようになりたい」という気持ちに応えていきたい。
-----	---

II 来年度に向けての取り組み

今回の委員会での話し合いの内容を踏まえて、来年度は以下の点を重点に取り組んで参ります。

1 「学ぶことが楽しい学校づくり」をめざします

子どもが、「わかった」「できた」という達成感を持ち、自分の考えを伝え合いながら友と学ぶことの楽しさを味わえる授業づくりに取り組みます

- ・主体的対話のある授業をめざした授業改善を進めます。児童が自ら動く、考える、語り合う授業を構築していきます。信州型ユニバーサルデザインの研究と実践を進めます。
- ・自ら活動を楽しむ生活科、問題解決力を育む総合的な学習（まるっ子タイム）に今後も取り組みます。
- ・地域に出たり、地域の方を招いたりして丸子の自然、文化、歴史、産業などについて学びます。
- ・ICTを活用して、分かりやすい魅力ある授業づくりを進めます。
- ・読み上げドリルなど学力定着学習の時間を大切にしていきます。
- ・「家庭学習の手引き」の工夫と活用、「つむぐ」の有効な活用を通して、家庭とともに学習習慣を身に付けるよう努めていきます。
- ・学習支援ボランティアを募り、子どもの「できるようになりたい」という気持ちに応えます。

2 お互いが相手を思いやる優しい心を育みます

だれもが違った思いや考えがあることを知るとともに、自己肯定感を高め、自分の思いや考えと違うひと・こと・ものを認められる心を育てます

- ・より高い人権感覚を育むために大人が見本となって行動します。
- ・PTA、地域と協力して子どもが認められる機会を大切にしていきます。
- ・自分のよさ、友のよさに気付き、認め合える学級づくりを進めます。ルールやマナーを守ることのよさ、認められることのよさを感じ得ることができる学校生活をつくっていきます。
- ・多様性に気付き認め合う道徳の授業を実践し、いじめや差別を許さない高い人権感覚を育成していきます。
- ・歌や音楽を響かせ合うことを通し、友と心を通わせるよさを感じ得できるようにしていきます。
- ・児童会活動、丸子地域青少年ネットワーク会議とともに、学校、地域で会った人には誰にでも心をこめて挨拶できるよう取り組みます。
- ・一人ひとりの特性に配慮したチーム支援、環境づくりを行っていきます。

3 強い意志を育み、体力向上を進めます

目標の実現に向かってひたむきにがんばれる強い心と体を育みます

- ・「つむぐ」を活用し、規則正しく健康的な家庭生活（食事と睡眠、家庭学習、ゲームやメディアとのつきあい方）について、PTAとともに考え実践していきます。
- ・全校、学年、学級で決まったことを皆で守ったり、全ての委員会の活動に協力し参加したりすることを通して、皆で力を合わせて活動をつくりあげることのよさを感じられるようにしていきます。
- ・「静かに最後まで聞く」「わかりやすく話す」など規律を大切にしていきます。
- ・一人ひとりが気持ちよく生活するために、自らを振り返る機会を大切にします。
- ・わくわくマラソン（朝マラソン）に継続して取り組み、体力の向上を図ります。
- ・スポーツテストの結果を生かして、体育集会や体育の学習を工夫していきます。

***集計結果の詳細につきましては、丸子中央小学校ホームページ→学校評価に掲載しております。ホームページをご覧になれない方は、資料を配付いたしますので、学校までお申し出ください。**

上田市立丸子中央小学校
 教 頭 宮澤 雅法
 教務主任 柴崎 将和
 TEL : 42 - 2112